



社会医療法人 河北医療財団

～認知症になっても暮らしやすいまちを みんなで創っていこう～ オレンジガーデニングプロジェクト多摩

社会医療法人 河北医療財団（所在地：東京都杉並区、理事長 河北 博文）は、今年より、地域のボランティアや恵泉女学園大学とも協働し、認知症啓発活動の一環としてこのプロジェクトを多摩エリアにて展開します。

◆ 9月の世界アルツハイマー月間にむけて、美しい園芸を通じ、認知症への理解をよびかける活動
オレンジ色は、認知啓発のシンボルカラー。

2020年に新潟県長岡市から始まったオレンジガーデニングプロジェクトは、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！」という思いを共有し、全国各地でオレンジ色の花を咲かせるプロジェクトです。

河北医療財団多摩事業部は、超高齢化が進む多摩ニュータウンで1980年の天本病院開設時より、高齢者医療・介護事業を展開してきました。認知症になっても地域で暮らし続けるためのサービス提供を軸とし、在宅医療やグループホームの運営などをおこなっています。



【概要】 オレンジガーデニングプロジェクト多摩 2022

【実施内容】 高齢者病院、認知症グループホーム等の庭やプランターに、職員や利用者、地域のボランティア、学生などが協働しオレンジ色の花を育てる（種まき、苗の植え付け、水やりなど）。

ポスターやチラシ、SNSを通じて、地域の一般の方へも参加を呼び掛ける。

9/23 市内イベントで活動紹介。

【参加予定団体】 2022年7月現在

- ・天本病院 ・あいクリニック デイケア ・あいグループホーム天の川
- ・あい看護小規模多機能施設ほたる ・あい小規模多機能施設こもれび
- ・恵泉女学園大学（園芸療法）等

【実施時期】 2022年7月～10月頃まで

【お問い合わせ】 社会医療法人 河北医療財団 多摩広報課

TEL : 042-310-0323

E-mail: kouhou-t@kawakita.or.jp



特設ホームページを8月に開設予定

<https://kawakita.or.jp/aisafetynet/>



リハビリの患者さんも散歩する天本病院のガーデン

「あたたかく やさしく 人にも地球にも」（財団の標語）



《リリースに関するお問い合わせ》

社会医療法人 河北医療財団 広報課 山口 美紀

TEL : 03-3339-5724

E-mail : press@kawakita.or.jp